令和３年度第２回宗像市歴史的風致維持向上計画推進協議会　議事録

開催日時　：　令和４年３月２９日（火）14:00～16:00

開催場所　：　海の道むなかた館　講義室

■出席者

委　員	出欠	委　員	出欠	委　員	出欠
◎黒瀬　重幸	出	土屋　潤	出(リ)	升谷　智子	出
○大方　優子	出	壹岐　貴寿	出	園元　かをり	出
西谷　正	出	矢原　吉房	出	明永　好弘 (代理者　田上)	出
山野　善郎	欠	田中　久美子	出	松村　知樹 (代理者　岡本)	出(リ)

◎印は会長、○印は副会長　　出(リ)はオンラインで参加

第１号議案　宗像市歴史的風致維持向上計画の進捗評価について

①　評価軸②-1 および評価軸②-2「重点区域における歴史的風致の維持及び向上に関する取組み（都市計画法）（景観法）」

（第 1 号議案書 宗像市-2、宗像市-3）

田上委員

：評価軸②-1 の都市計画法による取組みと、評価軸②-2 の景観法による取組みの件数は重複しているのか。

➡重複していない。地区計画における協議実績としては、具体の計画立案に先立つ事前の相談であって、現時点で建築等の行為は行われていないことから、景観計画に基づく届出実績の件数には含まれていない。

②　評価軸③-12「観光受入環境整備事業」

（第 1 号議案書 宗像市-16）

大方委員

：新型コロナウイルス感染症拡大の影響で観光ガイドのあり方が変化してきている。観光ガイドに係る運営のあり方について、デジタルツールを活用する等、今後の検討をお願いしたい。

➡検討する。

③　評価軸④-3「文化財に関する普及・啓発の取組」

（第 1 号議案書 宗像市-20）

田中委員

：ある地域で桃の節句に紙のお雛様をつくるという記述が過去の市史にあったと記憶

しているが、取組事業として実施した紙のお雛様を作る体験学習は、その風習と関係があるのか。それとも全く新しいものとして実施したのか。

➡新規の取組みとして実施した。大学の先生や地域学芸員、市等で新たに企画し、年間を通して季節を感じられると考え実施したものである。

④　評価軸⑥-1「その他（効果等）」

（第 1 号議案書 宗像市-22）

黒瀬委員

：市民アンケートの「観光による地域の活性化についての満足度」、「地域産業の活性化についての満足度」について、満足度が「高い」「やや高い」と回答した割合が、増加傾向であったものが減少傾向に転じており、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったのではないかと考えるが、このことについて事務局はどう考えるか。

➡　新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、酒造見学や乗馬体験のオンラインツアー等、工夫をしながら事業を実施しているが、これらの取組みの認知度の低さなどから満足度が低下したのではないかと考える。

大方委員

：事業効果の検証・評価について、市民アンケート結果を基に、「男女」「年齢」「居住地」等の情報を加え検証することで、評価の精度がより向上すると考えられるため、今後の検討をお願いしたい。

➡検討する。

黒瀬会長

：第 1 号議案の採決に入る。

異議がないことから、第 1 号議案は原案どおり可決する。

第 2 号議案　宗像市歴史的風致維持向上計画の変更について

黒瀬会長

：第 2 号議案の審議と採決に入る。

異議がないことから、第 2 号議案は原案どおり可決する。